

## 白糠町水道事業経営戦略

団 体 名 : 白糠町

事 業 名 : 水道事業

策 定 日 : 令和 3 年 2 月

計 画 期 間 : 令和 3 年度 ~ 令和 12 年度

## 1. 事業概要

## (1) 事業の現況

## ① 給 水

供用開始年月日	昭和 28 年 9 月 1 日	計画給水人口	10,447 人
法適(全部・財務) ・非適の区分	法適用(全部)	現在給水人口	7,227 人
		有収水量密度	0.116 千m <sup>3</sup> /ha

## ② 施 設

水 源	<input type="checkbox"/> 表流水, <input type="checkbox"/> ダム, <input checked="" type="checkbox"/> 伏流水, <input type="checkbox"/> 地下水, <input type="checkbox"/> 受水, <input type="checkbox"/> その他 ※複数選択可			
施 設 数	浄水場設置数	1	管 路 延 長	83.46 千m
	配水池設置数	2		
施 設 能 力	4,800 m <sup>3</sup> /日	施 設 利 用 率	65.3 %	

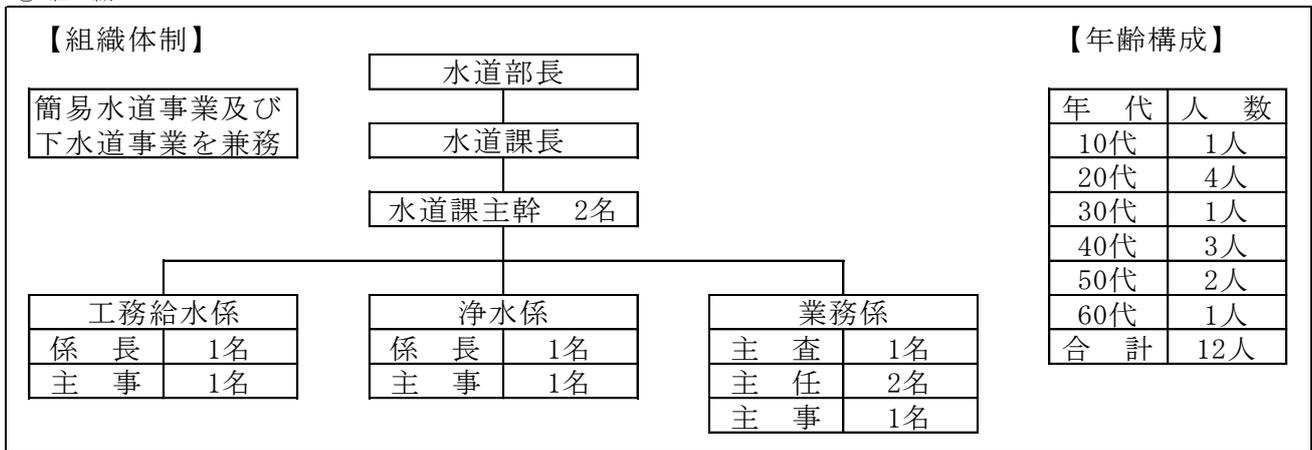
## ③ 料 金

料 金 体 系 の 概 要 ・ 考 え 方	用途別とし、基本料金及び超過料金を設定している。
料 金 改 定 年 月 日 (消費税のみの改定は含まない)	昭 和 54 年 4 月 1 日

## &lt;料金表&gt;

用途	料金	基本料金(1か月につき)		超過料金1立法 メートルにつき
		水量	料金	
家事用	4立法メートルまで		1,603円	—
	8立法メートルまで		1,980円	220円
業務用	7立法メートルまで		3,204円	—
	15立法メートルまで		3,960円	220円
農業用	30立法メートルまで		3,300円	99円
浴場用	100立法メートルまで		15,840円	176円

④ 組織



(2) これまでの主な経営健全化の取組

平成30年度の機構改革により簡易水道課及び上下水道課と統合し、人件費の抑制を図るとともに、その他の経費についても削減に努めるなど、給水収益が減少していく中でも健全な事業運営に取組んでいる。

(3) 経営比較分析表等を活用した現状分析

別紙平成30年度決算経営分析比較表参照

2. 将来の事業環境

(1) 給水人口の予測

過去10年間の実績から、修正指数曲線式 ( $y = K - a b^{-x}$ ) により推計し、令和12年度には6,310人と予測している。 単位: 人

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
実績値	8,944	8,712	8,453	8,235	8,046	7,798	7,713	7,501	7,412	7,227											
修正指数曲線式	8,703	8,460	8,237	8,034	7,847	7,676	7,519	7,376	7,244	7,124	7,014	6,913	6,820	6,735	6,657	6,586	6,521	6,461	6,406	6,356	6,310

※修正指数曲線式とは飽和値Kに漸近する上方漸近方式。

- y = 水系年度の値
- x = 基準年から経過年数に対応する値
- a、b、K = 定数

(2) 水需要の予測

過去7年間の用途別の給水戸数及び有収水量の推移を見ると家事用では毎年減少傾向だが、令和元年度の業務用及び農業用の実績では増加している。また、今後、業務用の給水戸数(新設など)の増加も見込まれることから、家事用が減少傾向ではあるものの、全体としての水需要は令和元年度実績と同等程度の推移を予測している。

用途別給水戸数及び有収水量

用途		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
家事用	戸数	3,473	3,425	3,369	3,325	3,311	3,269	3,233
	有収水量	482,258	470,129	463,102	454,887	450,826	443,787	442,173
業務用	戸数	464	461	456	450	448	441	437
	有収水量	343,105	344,505	337,552	333,817	320,844	317,841	323,662
農業用	戸数	33	33	31	30	29	28	26
	有収水量	78,539	81,931	79,045	78,186	79,898	75,789	76,712
浴場用	戸数	0	0	0	1	1	1	1
	有収水量	0	0	0	8,338	9,425	11,628	9,726
合計	戸数	3,970	3,919	3,856	3,806	3,789	3,739	3,697
	有収水量	903,902	896,565	879,699	875,228	860,993	849,045	852,273

(3) 料金収入の見通し

給水収益はこれまで減少傾向だったが、「2. (2) 水需要の予測」と同様に、業務用での給水収益の増加が見込まれることから、令和元年度実績と同等程度の推移を予測している。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
給水収益（千円）	193,817	192,412	189,497	187,204	187,555
経常収支比率（％）	104.58%	102.09%	104.08%	108.97%	110.19%
料金回収率（％）	106.68%	104.81%	102.81%	108.00%	109.00%

(4) 組織の見通し

水道事業のほか、簡易水道事業及び公共下水道事業も兼ねており、現状の12名体制を維持。

3. 経営の基本方針

安全で安定した水を供給するため、計画的に水道施設の整備、更新を取り進めるとともに健全な事業運営に努める。

#### 4. 投資・財政計画（収支計画）

(1) 投資・財政計画（収支計画）：別紙のとおり

(2) 投資・財政計画（収支計画）の策定に当たっての説明

##### ① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	計画的な配水管の更新
-----	------------

配水管整備費については、内部留保資金の確保も考慮し、計画的に配水管更新工事を実施することで費用の平準化を図る。

##### ② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	適正な料金収入を維持し健全経営に努める。
-----	----------------------

料金収入は「2. (3) 料金収入の見通し」のとおり見込み維持することで、中・長期的な投資に対する財源を確保する。企業債、国庫補助等の収入は見込んでいない。

##### ③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

職員給与費については、現職員数で見込んでいる。  
 動力費については、平準化すべく見込んでいるが、電力価格の変動に留意しつつ、新電力会社の活用も検討していく。  
 修繕費については、量水器取替の他、経年劣化が見られる配水管等の修繕を見込んでいる。  
 材料費については、これまでの量水器取替工事において平準化を図っていることから、今後も同様に見込んでいる。

(3) 投資・財政計画（収支計画）に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

##### ① 投資の合理化、費用の見直しについての検討状況等

広 域 化	北海道水道広域化推進プランの策定に向けた地区別検討会議、釧路上下水道事業研究会等に参加し、情報収集や意見交換を行ってきているが、現時点では広域化の予定はない。
民間の資金・ノウハウ等の活用（PPP/PFI等の導入等）	活用しない
アセットマネジメントの充実（施設・設備の長寿命化等による投資の平準化）	令和3年度までに浄水場等、施設の更新・整備が完了することから、令和4年度以降は適正な維持管理に努めるとともに、優先的かつ計画的な配水管の更新工事に努め、施設・設備の長寿命化を図る。
施設・設備の廃止・統合（ダウンサイジング）	現在、浄水場1か所、配水池2か所により安定した水の供給を行えていることから廃止・統合の検討は行っていない。
施設・設備の合理化（スペックダウン）	大口径管の配水管更新工事において水需要や、配水能力等を考慮し、必要に応じて管径の縮小を検討しながら合理化を図る。
その他の取組	特になし

##### ② 財源についての検討状況等

料 金	現在の料金体系で健全経営が図られる見込みであることから、現段階では料金改定の検討はしていない。
企 業 債	借入予定なし
繰 入 金	繰入予定なし
資産の有効活用等(*2)による収入増加の取組	特になし
その他の取組	特になし

#### 5. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	毎年、進捗管理（モニタリング）を行うとともに、概ね5年毎に見直し（ローリング）を行い、経営戦略の事後検証、改定等を行う予定である。
---------------------	---

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

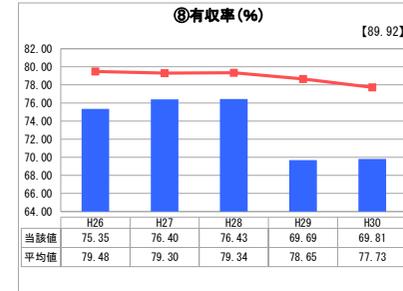
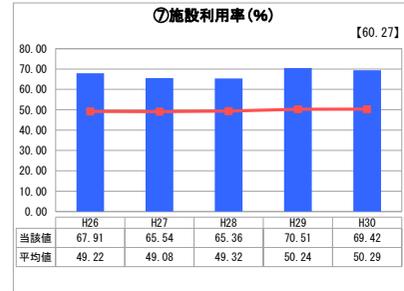
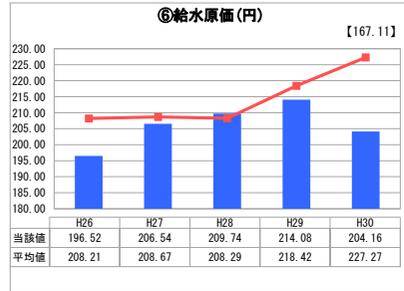
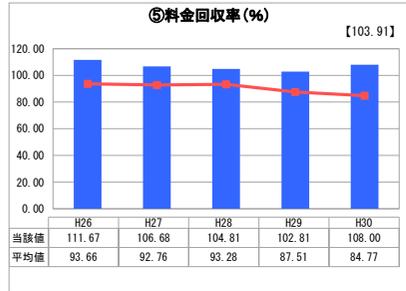
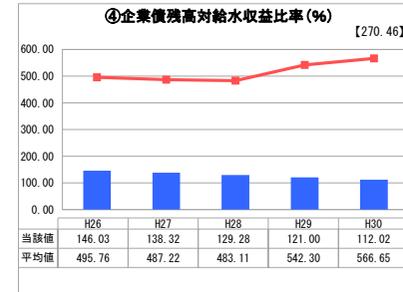
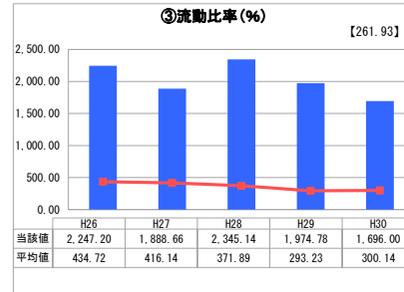
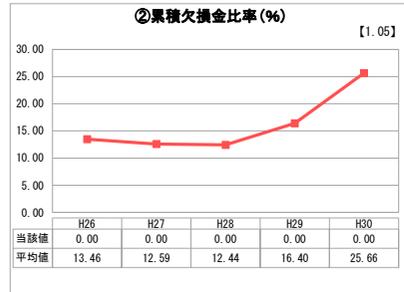
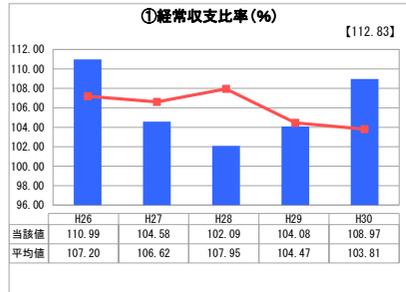
北海道 白糠町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり定額料金(円)	
-	89.99	94.77	4,536	

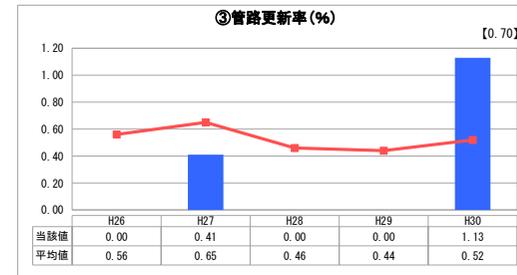
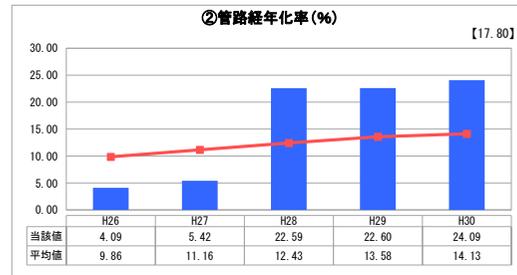
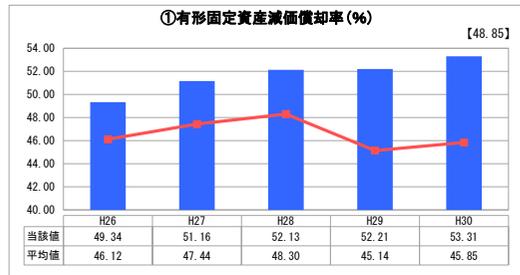
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,918	773.13	10.24
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,412	73.40	100.98

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は前年度より増加し経営の改善が図られ、料金回収率は前年同様100%を超えており、経営状態は健全であると判断されます。また、施設利用率については、類似団体平均値、全国平均値を上回っており、施設の効率性が十分に図られていると判断しますが、一方で有収率は前年度より低下したため、漏水対策を講じ、有収率の向上に努めます。

### 2. 老朽化の状況について

設備更新は、令和3年度までの整備計画により随時取り進めて行く予定です。また、管路についても経年劣化率が高いことから、敷設後40年を経過した管を優先して、計画的に更新を行うこととしています。

### 全体総括

純利益は前年度より増加し、ある程度の積立金は保有しており、流動比率や企業債残高対給水収益比率が示すように支払能力、債務残高も類似団体平均値、全国平均値と比較しても良好な状態であることから、現在のところ経営状態は問題なしと判断します。



